

【身に付けるべき能力の到達レベルを測る確認項目(詳細版)】

【評価方法】

1. 到達レベルを測る確認項目の各設問に対して、4段階で回答
 当てはまる: 3点
 どちらかという当てはまる: 2点
 どちらかという当てはまらない: 1点
 当てはまらない: 0点

(例)

- a.【取得管理】 得点25点 / 配点33点 = 得点率76% ⇒ Lv.3
 b.【安全確保】 得点34点 / 配点51点 = 得点率67% ⇒ Lv.3
 c.【他者・社会とのコラボ】 得点31点 / 配点66点 = 得点率47% ⇒ Lv.2
 d.【作成編集】 得点20点 / 配点48点 = 得点率42% ⇒ Lv.2
 e.【活用】 得点12点 / 配点45点 = 得点率27% ⇒ Lv.1

2. 5つの能力領域ごとまたは能力領域全体における各設問の得点を集計

【全体】 得点122点 / 配点243点 = 得点率50% ⇒ Lv.3

3. 5つの能力領域ごとまたは全体の得点率を算出し、到達レベルを評価

- 得点率 0-29%: Lv.1
 得点率 30-47%: Lv.2
 得点率 48-80%: Lv.3
 得点率 81-100%: Lv.4

能力領域	能力番号	能力	設問番号	設問内容
a.【取得管理】 データや情報、デジタルコンテンツを検索、評価、管理する能力 (配点33点、3点×11問)	a-1	必要な情報を明確にし、検索結果の表示順の仕組みを理解した上で、オンライン上からデータ、情報、及びデジタルコンテンツを見つけ取得する	1	商業的な要因に影響されるため、検索エンジンが異なると検索結果も異なる場合があることを知っている
			2	検索エンジンを用いた情報検索やオンライン上の文書内を検索する状況において、必要な情報を素早く見つけるために、どのような単語を使えばよいか知っている
			3	検索エンジンを使うとき、特定の文言を含む検索、言語を指定した検索、最終更新日で絞った検索など高度な機能を利用できる
			4	以前訪れたことのあるウェブサイトを見つける方法を知っている
	a-2	自分の好みの情報や自分と似た意見に触れやすくなるインターネットの特性を踏まえて、客観的に情報及び情報源の信頼性を分析し、比較し、批判的に評価する	5	ソーシャルメディアや検索エンジンなどの表示結果の中で、マーケティングや広告目的のコンテンツを見分ける方法を理解している
			6	インターネット上で見つけた情報源の目的(情報提供、広告・宣伝、娯楽など)を特定できる
			7	オンラインで見つけた情報が信頼できるかどうか、批判的に確認できる
	a-3	データ、情報、デジタルコンテンツを保存、管理、整理する	8	さまざまな記憶媒体(内蔵・外付けハードディスク、USBメモリー、ペンドライブ、メモリーカードなど)について知っている
			9	フォルダやタグを使って文書、画像、動画などのデジタルコンテンツを整理し、後からすばやく見つける方法を知っている
			10	フォルダ、デバイス、クラウド間で文書、画像、動画などのデジタルコンテンツをコピー・移動する方法を知っている
			11	ソフトウェアを使ってデータを管理・分析する方法を知っている(例:ソート、フィルタリング、計算など)
b.【安全確保】 デジタル空間において安全を確保する能力 (配点51点、3点×17問)	b-1	商業目的で個人情報が利用されうることおよびそのリスクを理解した上で、デバイス、デジタルコンテンツ、個人情報、プライバシーを保護する	12	インターネットに接続された機器やシステム(スマートウォッチ、スマートホームデバイスなど)を使用する際の利点と、安全上のリスクについて理解している
			13	セキュリティの問題を防ぐために、オペレーティングシステム、アンチウイルス、その他のソフトウェアを常に最新の状態に保つことの重要性について知っている
			14	さまざまなデバイスでファイアウォールの設定する方法を知っている
			15	デジタル情報やその他のコンテンツ(写真や連絡先など)をバックアップから復元する方法を知っている
			16	オンライン上で自らの位置情報へのアクセスを制限、あるいは拒否する方法を知っている
			17	自分の個人データを取得しようとする疑わしい電子メールやショートメッセージ(SMS)を識別する方法を知っている
			18	個人情報の提供を求められるウェブサイトの安全性を確認する方法を知っている(例:httpsサイト、安全ロゴ、証明書など)
			19	ソーシャルメディアを含むオンライン上で共有・表示するべきでない個人情報を理解している
			20	自分が利用するデジタルサービスのプライバシーポリシーを注意深く確認している
			b-2	インターネット上の違法・有害情報や偽・誤情報のリスクを理解し対処する
	b-3	インターネット上での不適切な振舞いのリスクを理解し対処する	22	スパムメッセージや個人情報の盗用を意図したメールなどオンライン上における悪意あるコンテンツから身を守る方法を知っている
			23	他者の写真を公開・共有する前に、その人の許可を得るべきであることを認識している
	b-4	身体的及び精神的な健康を保つ	24	デジタル機器の利用時間を管理する必要があることを認識している
b-5	デジタル技術とその利用が自然環境に与える影響について理解する	25	環境に配慮した生活や消費活動を目指し、関連するデジタル技術について新しい知識を取り入れている	
		26	古いデジタル機器や消耗品(コンピューター、スマートフォン、バッテリーなど)は、環境への影響を最小限に抑えるために適切に処分しなければならないことを知っている	
		27	自分のデバイスのエネルギー消費を減らす方法を知っている(例:設定の変更、アプリの終了、無線LANをオフにする等)	
		28	環境に配慮した形でデジタル機器を購入、使用するために必要な知識を持っている(例:エコラベル付きの機器を購入する、デジタルファイルの不要な印刷を控える、携帯電話やノートパソコンの充電器を機器に接続しないまま放置しないなど)	

【身に付けるべき能力の到達レベルを測る確認項目(詳細版)】

【評価方法】

1. 到達レベルを測る確認項目の各設問に対して、4段階で回答
 当てはまる: 3点
 どちらかという当てはまる: 2点
 どちらかという当てはまらない: 1点
 当てはまらない: 0点

2. 5つの能力領域ごとまたは能力領域全体における各設問の得点を集計

3. 5つの能力領域ごとまたは全体の得点率を算出し、到達レベルを評価
 得点率 0-29%: Lv.1
 得点率 30-47%: Lv.2
 得点率 48-80%: Lv.3
 得点率 81-100%: Lv.4

(例)

a.【取得管理】 得点25点 / 配点33点 = 得点率76% ⇒ Lv.3
 b.【安全確保】 得点34点 / 配点51点 = 得点率67% ⇒ Lv.3
 c.【他者・社会とのコラボ】 得点31点 / 配点66点 = 得点率47% ⇒ Lv.2
 d.【作成編集】 得点20点 / 配点48点 = 得点率42% ⇒ Lv.2
 e.【活用】 得点12点 / 配点45点 = 得点率27% ⇒ Lv.1

【全体】 得点122点 / 配点243点 = 得点率50% ⇒ Lv.3

能力領域	能力番号	能力	設問番号	設問内容
c.【他者・社会とのコラボ】 デジタル技術を通じて他者や社会と関わる能力 (配点66点、3点×22問)	c-1	デジタル技術を用いて他者と交流しコミュニケーションを取れる	29	電子メールの送信、返信、転送の仕方を知っている
			30	多くのコミュニケーションサービスやソーシャルメディアは、広告で賄われているため、無料で利用できることを知っている
			31	高度なビデオ会議機能の使い方(司会進行、音声・映像の記録など)がわかる
			32	状況に応じてどのコミュニケーションツールやサービス(電話、電子メール、ビデオ会議、テキストメッセージなど)を使うべきか知っている
	c-2	デジタル技術を活用して、他者と情報やコンテンツを共有できる	33	他の人にとって興味深く、役に立つと思われるデジタルコンテンツを共有することに前向きである
			34	クラウドサービス(Google Drive、DropBox、OneDriveなど)を使ってファイルを共有する方法を知っている
			35	コンテンツを共有する相手を変更する方法を知っている(例:友人、友人の友人、全員)
			36	オンラインで見つけた文書の出典(例:著者やウェブアドレス)を参照する方法を知っている
	c-3	社会活動に有益なデジタルサービスやデジタルツールを利用できる	37	デジタルプラットフォームを使って求人に応募する方法を知っている(例:フォームに記入する、履歴書や写真をアップロードする等)
			38	多くの公共サービスがインターネット上で利用できることを知っている
			39	オンラインで購入した商品やサービスの支払い方法を知っている(例:銀行振り込み、クレジットカード/デビットカード、その他のオンライン決済システムを使用する)
			40	社会問題や政治の問題について議論する場として、オンラインフォーラム、ニュースサイト、ソーシャルメディアなどデジタル空間を重視している
	c-4	デジタルツールを利用して、他者とオンラインで繋がりがながら作業できる	41	インターネットを介した共同作業の利点を理解している(例:テレワークによって通勤時間の短縮される)
			42	共有されたオンラインドキュメントを編集する方法を知っている
			43	共有されたドキュメントで共同作業を行うために、他の人を招待し、適切な許可を与える方法を知っている
	c-5	デジタル空間でのコミュニケーションの特性を理解し、多様な背景・環境下にある人々に配慮できる	44	特定のグループや個人を攻撃するオンラインのメッセージや行動(ヘイトスピーチなど)を見分ける方法を知っている
			45	オンライン上で自身が攻撃的なコメントや脅迫を受けた場合、あるいは他者にこれらの行動が行われている場面を発見した場合に、適切な措置を取ることができる
			46	状況に応じてオンライン上でどのように振る舞うべきか知っている(例:フォーマルかインフォーマルか)
			47	高齢者や特別なニーズを持つ人々をサポートするためのデジタルツールについて知っている
	c-6	デジタル空間における個人情報の対象やその重要性を理解し、適切に管理する	48	自分のデジタル・アイデンティティとは、オンライン環境において自分を特定するすべてのものであることを知っている(例:ユーザー名、ソーシャルメディア上の「いいね!」や投稿、オンラインで署名した請願書など)
			49	個人的または仕事上の目的で、デジタル環境にプロフィールを作成する方法を知っている
			50	インターネットブラウザの設定でクッキーを防止・制限する方法を知っている

【身に付けるべき能力の到達レベルを測る確認項目(詳細版)】

【評価方法】

1. 到達レベルを測る確認項目の各設問に対して、4段階で回答
 当てはまる: 3点
 どちらかという当てはまる: 2点
 どちらかという当てはまらない: 1点
 当てはまらない: 0点

2. 5つの能力領域ごとまたは能力領域全体における各設問の得点を集計

3. 5つの能力領域ごとまたは全体の得点率を算出し、到達レベルを評価
 得点率 0-29%: Lv.1
 得点率 30-47%: Lv.2
 得点率 48-80%: Lv.3
 得点率 81-100%: Lv.4

(例)

a.【取得管理】 得点25点 / 配点33点 = 得点率76% ⇒ Lv.3
 b.【安全確保】 得点34点 / 配点51点 = 得点率67% ⇒ Lv.3
 c.【他者・社会とのコラボ】 得点31点 / 配点66点 = 得点率47% ⇒ Lv.2
 d.【作成編集】 得点20点 / 配点48点 = 得点率42% ⇒ Lv.2
 e.【活用】 得点12点 / 配点45点 = 得点率27% ⇒ Lv.1

【全体】 得点122点 / 配点243点 = 得点率50% ⇒ Lv.3

能力領域	能力番号	能力	設問番号	設問内容
d.【作成編集】 デジタルコンテンツの作成・編集に関する能力 (配点48点、3点×16問)	d-1	さまざまな形式のデジタルコンテンツを作成・編集し、自己表現できる	51	デジタルテキストファイル(例:Word、OpenDocument、Google Docs)の作成・編集方法を知っている
			52	インターネット上でデジタルコンテンツを作成し、自分を表現する方法を知っている(例:ブログ記事、YouTubeのビデオ)
			53	テキスト、画像、音声、動画の要素を使ったマルチメディアプレゼンテーションの作り方を知っている
			54	自分を表現するために、聴衆や目的に応じて適切な種類のデジタルメディアを選択することに注意している(例:プロジェクトを推進するためにソーシャルメディアを使用する)
	d-2	既存の情報、コンテンツ、知識を他のものと組み合わせることで、新しい知識やコンテンツを生み出す	55	既存のデジタルコンテンツを編集・加工あるいは組み合わせて、新しいコンテンツを作ることに熱心である(例:インターネット上で適切に取得した写真とサウンドトラックを使ってプレゼンテーションを作る)
			56	デジタルコンテンツの中には、合法的に再利用や加工ができるものがあることを知っている(例:パブリックドメインやクリエイティブ・コモンズ・ライセンス)
			57	他者が作成したデジタルコンテンツを編集・変更する方法を知っている(例:画像にテキストを挿入する、Wikiを編集するなど)
			58	異なる種類のコンテンツ(例えばテキストと画像など)を組み合わせて新しいものを作る方法を知っている
	d-3	著作権やコンテンツの利用許諾等の各種法令の適用の重要性を意識する	59	見つけたデジタルコンテンツの著作権やライセンスに関するルールを守るように注意している
			60	音楽、ソフトウェア、映画などをはじめとするデジタルコンテンツを違法にダウンロード、共有した場合、倫理的または法的な問題につながる可能性があることを知っている
			61	違法に共有・公開されているデジタルコンテンツ(特にソフトウェア、映画、音楽、書籍、テレビ番組など)を見分けられる
			62	デジタルコンテンツの利用にどのような種類のライセンスが適用されるかを知っている(例:クリエイティブ・コモンズ・ライセンス)
	d-4	コンピュータシステムが問題解決や作業を行うためのプログラム(指示命令)を作る	63	ある作業をステップに分解して、ソフトウェアやロボットなどで自動化する方法を理解することに興味がある
			64	プログラミング言語(Python、Visual Basic、Javaなど)は、デジタル機器にタスクを実行するための命令を与えるために使われることを知っている
			65	タスクの実行を自動化するためのスクリプト、マクロ、簡単なアプリケーションを書ける
			66	データを特定の規則に従って並び替えるタスク(ソート)やデータの中から特定の要素を発見するタスク(検索)など、タスクによっては一つの目的に対して複数の計算方法(アルゴリズム)があることを知っている
e.【活用】 デジタル技術の利用にあたっての課題解決やデジタルツールを用いた課題解決に関する能力 (配点45点、3点×15問)	e-1	自らのニーズに合わせてデジタルツールを調整しながら利用できる	67	日常生活や仕事の場において、テクノロジーやツールを利用し作業の効率や正確性を上げることに積極的である
			68	最も一般的なデジタル機器(コンピュータ、タブレット、スマートフォン)の主な機能を知っている
			69	与えられたタスクを実行するために、適切なツール、デバイス、サービスを選択する方法を知っている(例:自分のニーズに合わせてスマートフォンを選択する、プロフェッショナル向けのビデオ通話用にツールを選択するなど)
			70	言語翻訳、拡大・縮小、音声読み上げ機能など、デジタルツールへのアクセスや使用を向上させる技術的な解決策を知っている
	e-2	デジタル技術に関連するトラブルを特定し、解決する	71	技術的な問題に直面した際に、問題を細かく切り分け順序立てて問題の原因を特定しようとする
			72	デジタル機器がオンラインに接続できない理由をいくつか知っている(例:無線LANのパスワードが間違っている、機内モードがオンになっているなど)
			73	技術的なトラブルに直面したとき、インターネットで解決策を見つけられる
			74	技術的なトラブルを解決するために、デジタル機器のオペレーティングシステムの設定を編集することができる(例:サービスの自動停止/開始、レジストリキーの変更など)
	e-3	デジタル技術を活用して、身の回りの課題・社会課題を解決する	75	デジタル技術が業務プロセスや製品を革新するための強力なツールとして使用できることを知っている
			76	デジタル技術によって知的、社会的、実用的な問題を解決することを目的としたチャレンジやコンテストに積極的に参加する
			77	複雑な情報を管理・整理するデータツール(データベース、データマイニング・分析ソフトなど)を使って、意思決定や問題解決を行うことができる
			78	周囲の人々のデジタルリテラシー向上支援に積極的である
e-4	自分自身や周囲の人々のデジタルリテラシーを振り返り、能力の向上を目指す	79	新しいデジタル機器やアプリケーションに興味があり、機会を見つけては試してみたいと思っている	
		80	デジタル技術を向上させるためのオンライン学習ツールの使い方を知っている(例:ビデオチュートリアル、オンラインコースなど)	
		81	デジタル世界の新しいトレンドについて知っており、それが私生活や仕事にどのような影響を与えるか理解している	